

vol.6

2025年7月

Arai Darumaya

だるま屋通信

— 夏号 —

今号のtopics

Topics
1

祝 創業200周年 中沢酒造さん

Topics
2

絵付け体験♪ in 湘南ひらつか緑化まつり・七夕まつり

Topics
3

湘南ひらつか七夕まつり【第73回】

湘南茅ヶ崎道の駅オープン！

Topics
4

日本酒ラベル「酔鯨」TYPE 25

Topics
5

来年の馬の干支だるま製作中です！

Topics
6

だるま屋通信はダウンロードして紙でご覧いただけます。
最適サイズはA4です。スマホなどでご覧いただく場合は、
ピンチアウト(画面を指2本で拡大)していただけます。

祝 創業200周年 中沢酒造さん

中沢酒造さん、創業200周年おめでとうございます！老舗と言っていたいております荒井だるま屋は今年で創業160年を迎えますが、それ以上に40年も長く昔から継承されてきた老舗のお店です。趣のある建物は、一度火災で燃えてしまった元の建物を建て直して現在は築150年とのこと。その火災では建物だけではなく資料となるものも燃えてしまい、創業200年という事さえ記録として残っていなかったようですが、神奈川県七沢にある、こちらも創業200年を越える老舗の酒蔵・小金井酒造さんの資料に中沢酒造さんのことが載っていて創業200年と分かったそうです。また、小田原城に保管されていた資料には、焼けてしまった大きな蔵の再建をする際に大金を要し、二宮金次郎にお金を借りて建てたことが記録として残っていたそうです。なんとも歴史が深いですね。

中沢酒造さんは、神奈川県松田町にある今年で創業200年の老舗の酒蔵です。



中沢酒造・店主の10代目にお話を聞かせていただいた際に、10代目のお母様や妹さん、11代目の奥さんともお話することができ、皆さんに大変親切に接していただきました。暖かいご家族のチームワークで作られるお酒は優しい味がします。知る人ぞ知る中沢酒造さんの日本酒・松みどりは、手土産に持って行った時に、お相手に「わぁ！松みどり嬉しい！」と、喜んでいただきます。もちろん荒井だるま屋のメンバーの中にも熱心な松みどりファンがおりますよ。



100年以上前のひげだるまの髭は、驚くことに人毛です！なんとも黒々しく、リアルです。大切に保管させていただきます！

左の写真（上）は荒井だるま屋の最大サイズの20号の大きなだるまがすっぽり納まる中沢酒造さんの大変大きな神棚です。その写真中央のだるまが200周年のお祝いでこの度作成した真新しいだるまです。その横にある2体は100年以上前に荒井だるま屋2代目が作っただるまです。そして左の写真（下）は荒井だるま屋の工房内の写真です。なんと、なんと、1点くださいました！新しくお迎えしただるまの代わりに、神棚から1つ下げたのでどうぞと。2代目のこのように大きな作品は持っていませんでしたので、感無量です！

現在、ひげだるまは神奈川県では荒井だるま屋しがつ作っておりません。毎年のリピートのお客様や、名入れのお客様、昔から根強い人気があります。たくさんのご注文がある中、この度の20号の大きさは珍しいです。4代目・5代目・職人歴40年以上のベテラン職人が緊張感をもって仕上げます。達成感のあるご依頼でした。



20号は本当に大きいです。植える髭も大変長く、抱きかかえながら仕上げます！

絵付け体験♪

in 湘南ひらつか
緑化まつり・七夕まつり

今年の4月に開催された『湘南ひらつか緑化まつり』と7月に開催された『湘南ひらつか七夕まつり』にて絵付け体験を実施しました。緑化まつりは今まで物販でしか出店したことが無く初めての試みでしたが、混雑とまではいきませんが、たくさんのお客様に楽しんでいただきました。七夕まつりは、『まちかど広場』という、開会式・閉会式が行われるメインの会場で有りがたく実施することができました。2年前に1度だけ他の会場で実施したことがあるので、七夕まつりでは今回が2回目です。2年前の絵付け体験と同様の混雑を予想していたのですが、それを遥かに上回るお客様の数に、行列ができた時間帯もありました。



七夕まつりでの体験の様子です。暑い中、一生懸命に絵付けをしてくれてありがとうございました。楽しかったと、帰り際に声を掛けていただき嬉しかったです。連日足を運んでくれたお客様や、1日に2回も絵付け体験をしてくれたお客様もいました！

外国のお客様のだるまのご紹介です♪

参加者には外国のかたが何名もいらっしゃいました。日本の文化に触れていただき、良い思い出になれば幸いです。



まちかど広場で行われた開会式の様子です！

開会式にはたくさんの観客のかたや撮影陣がいて活気がありました。織姫さん達キラキラしていますね！開会式終了後、この会場が名産品の物販と絵付け体験スペースに早変わりします。

荒井だるま屋のメンバーだけでの対応では全く追いつかなくなり、名産品協議会の会長が自らお手伝いをしてくれたり、商工会議所の方々のご協力があったりと、たくさんの皆様のお力添えのお陰で最後まで無事に実施することができました。3日間とも暑すぎる程の晴天の中、絵付け体験に参加して下さったお客様、ありがとうございました。毎年恒例の行事になるかは今のところ分かりませんが、次回も開催できるようでしたら、事前に告知などさせていただきますね！



絵付けしただるまは、最後に火打ち石でお清めをしてお渡ししています。無病息災・家内安全、皆さまに良いことがありますように、願いを込めます。世界に1つだけのオリジナルのだるまを大切にしてくださいね♪

※こちらは緑化まつりでの写真です。



胡粉を塗り終えて、乾かしている様子です。だるまを『クシ』に刺して『ぼっちゃ』に立てて乾かします。わたくしどもには通常の工程なのですが、きっと皆さまには珍しい光景になりますね♪

絵付け体験の事前準備の1つに、1号のだるまの本体作りがあります。この作業も終始手作業です。紙の生地に土の底を付けてだるまの本体を作ります。その上に胡粉をコーティングして乾かし、絵付けができる段階になります。胡粉は大量に作ることも濃度調節なども意外と難しいですが、5代目が上手に作ってくれるので塗りやすいです。(感謝!) この夏にも平塚の公民館などで絵付け体験をするため、7月の某日に胡粉塗りをしましたが、夏はすぐに乾くメリットもありつつ、酷暑の中、しかも胡粉は火にかけながら塗るため大変です。来年は春に作ろう!と、みんな同意見でした。

湘南ひらつか七夕まつり

第73回

3日間ともお天気に恵まれて、活気のある七夕まつりになりました！

一年前のだるま屋通信・夏号で大々的に取り上げさせていただきました『湘南ひらつか七夕まつり』ですが、今号でも少し記事にさせていただきます。昨年の七夕まつりのポスターでは書家でもある荒井だるま屋4代目が『七夕まつり』の文字を書かせていただいた、山協印刷さんとコラボのポスターが採用されました。今回も、なんと、4代目が『七夕まつり』の文字を書かせていただきましたポスターが採用されました。こちらも山協印刷さんとのコラボ作品です。2年連続は珍しいことのように、発表を聞いた時は驚きと喜びがありました。七夕まつりの会場や様々な場所に掲載されているのを見かけて、嬉しい気持ちになりました。

今回初めて笹飾りを協賛してくださったカルピス株式会社さんは平塚の企業ではありませんが、七夕と大変ゆかりのある会社です。カルピスの誕生が7月7日で、イメージでもある青い水玉は、天の川をイメージしているそうです。7月7日・天の川！まさに七夕ですね。七夕に願いを込めて書く短冊、願いを込めて目を入れるだるま。わたくしどもも七夕と共通点がありました♪

第73回湘南ひらつか七夕まつりのポスターはこちらです！



連続して貼られたポスターを発見しました♪



協賛してくださったカルピス株式会社さんの笹飾りです。涼し気でいいですね。

混雑を避け、夜の茅ヶ崎道の駅です！



今や全国的に大ブームの道の駅。雑誌やネットでよく道の駅ランキングを見かけたりします。取り揃えられた地のものが一度に買えたり、体験やイベントがあったり、どの道の駅も楽しそうですね。そんな道の駅が、湘南初で茅ヶ崎にオープンしました。オープン当初から賑わっていましたが、夏休みに入り、遠方からも大変多くの方々に来ていただき、連日大盛況のようです。



荒井だるま屋の商品は、こちらの棚に置いていただけます。今は夏にピッタリの商品が並んでいます。1ヶ月毎に商品が変わるスペースなのでいつでも楽しめます！

湘南茅ヶ崎道の駅
オープン！

令和7年7月7日、トリプルセブンの日にお隣の町、神奈川県茅ヶ崎市に道の駅がオープンしました。海沿いの134号線に面する立ち寄りやすい場所です！

入っているテナントや商品などは茅ヶ崎のお店が多数ではありますが、湘南のお仲間でもある平塚の商品も取り扱いがあります。荒井だるま屋ではスポットになります。本年の12月15日～年明け1月14日の1ヶ月間で商品を置いていただく予定です。だるまをお買い求めいただく、ちょうどいい期間に置いていただけるのは大変有りがたいです。せっかく良い機会をいただいたので、茅ヶ崎道の駅でしか買えない限定商品や、思い出・記念になるような商品を考えています。新しい企画はワクワクしますね。湘南は夏のイメージが大きいですが、冬も楽しく過ごせる場所がありますので、是非とも足を運んでいただければ幸いです。

日本酒ラベル 「酔鯨」TYPE 25



4代目の書と、現代の素敵なデザインの融合です。冷酒にピッタリの爽やかなラベルですね。TYPE25は酔鯨ならではの芳醇辛口を大切にしつつ微発泡の軽やかさがあるお酒です♪

昨シーズン中に、日本酒ラベルの『酔鯨』の書のご依頼がありました。繁忙期真っ只中のご依頼だった為、繁忙期明けまでお待ちいただき、お引き受けすることができました。書家でもある4代目が20年ほど前にも酔鯨のラベルを書かせていただいたのですが、今回のご依頼は、現代のニーズに合わせて新しい酒質に挑戦する新商品のラベルを、現在の荒井星冠の書で表現して欲しいという内容でした。書をお相手が手にした時に心に響くことが大切だと思います。この度の酔鯨も喜んでいただき、心のこもった感謝のお手紙をくださいました。たくさんのかたが新商品・酔鯨を目にし、手に取っていただければ書き手としても幸いです。

お客さまに長年ご愛顧いただける会社は、たくさんの努力や挑戦をされていますよね。酔鯨酒造さんもまさにそうです。お酒に魅力があるのはもちろんですが、素敵な挑戦をされています。この夏に秘密戦隊ゴレンジャーとのコラボ商品が発売されます。2025年でスーパー戦隊シリーズが50周年を迎えるにあたり実現したそうです。『Enjoy SAKE Life』をテーマに世代や国境を越えて日本酒の美味しさ、飲む楽しさを伝えていく酔鯨酒造さんの挑戦から目が離せません。



酔鯨酒造さんのお酒は美味しいことはお墨付きですが、こちらの商品はなんともワクワクするデザインがいいですね。飲食には味覚も視覚も大事な五感です。迷いなく、いち早く予約購入してしまいました♪ ※数量限定のため売り切れご免です。

来年の馬の干支だるま製作中です！

馬は『馬力』と言われるよう力強さの恩恵から、「豊作」「健康運」などの意味があり「物事がうまくいく」「幸運が駆け込む」など、縁起の良い干支です。

馬の
干支だるまの
後ろ姿を
初公開♪



和紙を貼り終えた段階の写真です。

馬の干支だるまの後ろ姿です。ちょうど撮影の日は何段も並べることができなかったのですが、只今どんどんと製作中です。

現在、来年の馬の干支だるまの製作を進めています。毎年そうなのですが、3000個ほどを作るため、デザインをギリギリまで粘って考案してしまいます。製作をスタートさせなくては間に合わなくなるだろう時期まで試作を繰り返します。干支だるまはパーツを盛り付けるため工程が多く、一つ一つ手作りなので完成まで時間が掛かりますが、売り切れにならないようにコツコツ作っていきます！今年も10月の発売予定になります。是非とも、お楽しみにしてくださいね♪

5月から夏が始まり、長い夏も8月が本番です！「暑い」と口に出してしまうと、増々暑く感じてしまうと思うのですが、つい「暑〜い」とこぼれてしまう毎日です。皆様も、こまめな水分補給と暑さ対策を万全に良い夏をお過ごしくださいね。馬の干支のだるまの発売日が決まりましたら、秋になりますますがまた告知させていただきます。せめて、涼しい秋になりますように。